

2011年6月27日 午後2時から公演

ビッグパレットふくしま

ビッグパレットふくしまには、福島原発被災者である川内村、富岡町の方が1300人以上避難していらっしゃいます。この避難所は前回の母畑温泉とは違い、避難している方々はカーテンで仕切られた中でかろうじてプライベートを確保できる方、それでは場所が足りず、フロアーに段ボールを敷きやっとな寝る場所を確保している方、お風呂は自衛隊の方達の用意したお風呂ですが、毎日入る事が出来ないそのような状況のなか慰問公演をさせて頂きました。

公演のお誘いをするために館内でお話しをさせて頂くとある女性は「私は3月12日から一度もお家に帰っていないんです。そこには一生かけてつくってきたものがあるのに、そこにはもう戻れない。これからどこに行けるのかもわからないし、だれも私の味方をしてくれない。あなた達は来ても一瞬だけしか私達を慰める事ができない。」と、涙を流し話して下さいました。そしてお話しを聞いた最後に「あなたが聞いてくれたから、涙が出て愚痴ってしまっでごめんなさい。」と…だれも話を聞いてくれない、この悲しみとやり場のない怒り…震災から3カ月以上たったいま、世間からはだんだんと忘れ去られています、まだまだ辛い現実を背負っている方々がいることを思い知らされました。



雨の中、観て下さる方々

「こんないい公演あったと知っていたら、公演を見に来ていました。」と言って下さいました。この避難所は前回の母畑温泉に比べると、お食事もお弁当で、温かい食べ物がないようで、心の渇きを癒すにはまだ少し早かったような気がいたしました。

舞台のある場所は、避難所になっているため屋外にビニールシートをひき公演致しました。雨が降りだしてしまっただけですが、濡れながらも最後まで観て下さいました。公演終了後、ある方はタコ焼きをもらうために2時間並んでいて見れず

そんな中、あるおばあさんはずっと私達が片付けるのを見ていて最後にママローザに「本当に楽しかった。今までの慰問公演の中で一番楽しかった。そして一瞬だけだけれど色々な事を忘れる事ができました。ありがとう。この公演を見る事が出来なかった人は本当に残念です。また来て下さい。」とニコニコしながら言って下さいました。その喜びの言葉を聞いた時、一瞬だけでも忘れる時間をプレゼント出来たことに、今日の公演に意味があったことを感じました。

この言葉の中にいつもママローザが教えて下さる、曼珠沙華設立時の最も大切な心の一部でもあります、『喜びは祈り、喜びは力、喜びは愛』のように、季節のようになんか変わりゆく心に、曼珠沙華が一瞬でも喜びをプレゼント出来たらと思いました。

そして「神様を愛するようにあなた達は人を愛しなさい。神様に仕えるようにあなた達は人に仕えなさい。」とマザーテレサがママローザに語りかけているように感じました。

今回はテレビユー福島の方が取材に来て下さり、その私達の映像のニュースを公演終了後の帰り道、サービスエリアで見る事ができました。インタビューされた女性が、「自分の心がきれいになる気がする、今までしぼんでいた気持ちが明るくなります。」と言って下さいました。



雲の合間から扇形に広がる夕陽

そのニュースを見た後サービスエリアから出ると、外には扇のように雲の間から広がる夕陽が出ていました。なにかこれから大きく広がるような気がいたしました。

奇しくもちょうどその時間、華天女グループの花園涼さん（向山日出子さん）の九州にいらっしゃる88歳のお父様が、お亡くなりになりました。亡くなる命もあり、また生まれる命もある。

ママローザの言葉の中に「多くの犠牲のもとに新しいものが生まれる…」犠牲があるから

こそ生きている私達が、亡くなった方達の死を無駄にする事なきよう、生きて行く…

公演中にママローザのお話しで、お風呂に入れば放射能が体からなくなる、と申しましたところ、今皆さんお風呂に入れる状況ではないので、そのお話は…とある方から言われたのですが、ママローザはこの放射能が体からなくなる、というのは自身が、チェルノブイリで放射能カウントの高いところに実際に行って体験し、経験を通したお話であり、毎日入れなかったとしてもお風呂に入って、汚れを落とし汗をかくだけでも違うと

いう事だけでも、知ってくれたらとの思いでお話をさせて頂きました。言葉一つで、十人十色、いろいろな受け取り方もあります。そして言葉の持つ大切さ、“責任”今この様な震災後の敏感な時期だからこそ、責任のある言葉を話さなければならないと思いました。



雨の中最後まで観て
下さった方達と握手

今回ご縁を結んで下さった、
秀城様 (左から3番目)
小倉様 (右から3番目)、
嶋田様 (右から2番目)、
佐藤様 (右端) と



この慰問公演の為に朝、ご自分の劇団の九州公演より
駆けつけて下さった恋川純弥座長と